

春学期の公開授業とワークショップ

7月15日

教育支援研究開発センター担当 蚊野 浩

1. 春の公開授業

7月16日(木)から7月22日(水)に、以下のオンライン授業を公開授業とする。

2. ワークショップ

7月22日(水)、13:15から Teams 会議

議題

- (a) プロジェクト演習について
- (b) 修学指導体制について
- (c) オンライン授業の現状確認と秋学期への準備について

以下、公開授業の一覧

月曜日

- 1年、コンピュータ概論、月2、pdf、音声付き pdf、小テスト
- 2年、アルゴリズムとデータ構造、月2、LecRec 録画、pdf、レポート
- 3年、センサと計測/センサ・アクチュエータ基礎、月2、LecRec 録画、pdf、課題
- 2年、システム理論、月3、Teams 会議、LecRec 録画、pdf、小テスト
- 3年、オペレーティングシステム、月3、pdf、小テスト
- 2年、コンピュータネットワーク I、月4、LecRec 録画、Google Meet、pdf、音声解説ファイル
- 3年、コンピュータアーキテクチャ II、月4、LecRec 録画、pdf
- 2年、運動の数学、月5、LecRec 録画、pdf、提出課題
- 3年、データベースシステム I、月5、LecRec 録画、Google Meet、pdf、音声解説ファイル

火曜日

- 2年、データ解析の基礎・データ解析、火1、LecRec 録画、pdf、課題
- 3年、音響メディア論・メタコース、火1、Zoom 会議、LecRec 録画、pdf
- 1年、コンピュータのための数学、火2、pdf、音声付き pdf、Slack、練習問題
- 2年、論理回路 II_統合、火2、Teams 会議、Stream 録画、pdf、小テスト

水曜日

- 2年、多変量解析の初歩、水2、LecRec 録画、Stream 録画、pdf、課題
- 3年、組み込みハードウェア設計、水2、Teams 会議、LecRec 録画、pdf、小テスト

木曜日

- 1年、情報リテラシ基礎演習、木1、Teams 会議、LecRec 録画、pdf、課題
- 2年、システム LSI 設計_統合、木2、Teams 会議、Stream 録画、pdf、小テスト
- 1年、微分積分 I、木3、Teams 会議、Stream 録画、LecRec 録画、pdf、授業中の課題
- 3年、画像処理、木3、Teams 会議、Stream 録画、pdf、練習問題

1年、微分積分 III、木 4、LecRec 録画、pdf、小テスト

1年、情報理工学概論、木 5、Slack、Stream 動画、LecRec 録画、pdf、課題

2年、信号処理基礎、木 5、Teams 会議、Stream 録画、LecRec 録画、課題

金曜日

3年、技術と社会・情報知財論、金 1、Teams 会議、Stream 録画、pdf、テスト

1年、線形代数 I、金 2、LecRec 録画、pdf、小テスト

2年、情報理論、金 2、pdf、演習問題、レポート

3年、パターン認識と機械学習・マルチメディア符号化論、金 2、LecRec 録画、pdf、テスト

2年、数値計算、金 3、pdf、練習問題

2年、神経科学 I・脳科学入門、金 4、LecRec 録画、pdf、小テスト

3年、数理論理学、金 5、pdf、練習問題

注) stream の動画は、Teams でそのクラスに登録後、しばらくしてから視聴可能になる。

7月22日

教育支援研究開発センター担当 蚊野 浩

7月22日(水)、13:15から Teams 会議

議題

- (a) プロジェクト演習について
- (b) 修学指導体制について
- (c) オンライン授業の現状確認と秋学期への準備について

参加者：平井、伊藤(浩)、荻野、田中、林原、安田、大本、赤岩、川村、中島、宮森、玉田、伊藤(慎)、秋山、棟方、岡田、荻原、赤崎、奥田、永谷、水口、新實、蚊野(司会者)

議事録

司会者から、このFDワークショップが学部授業・カリキュラム改善に向けた「年間計画書」に従って実施されていることを説明した。この年間計画に、新型コロナウイルス感染症に伴うオンライン授業の関連事項を調整したワークショップを実施した。

(a) プロジェクト演習について

今年は情報理工学部への改組の3年目にあたり、3年次に初めて実施する科目である「プロジェクト演習」の状況を確認した。赤崎先生から、FDワークショップ資料.pdfのpp.10-11に従って説明があった。履修テーマへの割当は、88.4%の学生が第一希望のテーマを履修し、第3希望までに96.4%が割当られた。現時点で7名の不参加者と、その他、若干の遅刻・欠席者がいるが、概ね、良好に進んでいるとのことであった。学部の完成年度(令和3年度)までは、現在の授業内容を維持する。その後、プロジェクト演習の教員を中心に経過などを振り返り、実施方法の変更も含めて検討を行う。

(b) 修学指導体制について

林原先生から、FDワークショップ資料.pdfのpp.12-15に基づいて、修学サポート「寺子屋」の実施状況と今後について説明があった。寺小屋の利用者が減少を続けていることと、林原先生のご都合から、今後の修学指導体制の早期再構築について述べられた。林原先生が「寺子屋」の担当を降りるので、後継担当者や新しい修学サポート体制の構築を検討する必要がある。10月ごろに決定するために、それまでに学部カリキュラム委員会で検討することとした。

(c) オンライン授業の現状確認と秋学期への準備について

蚊野から、FDワークショップ資料.pdfのpp.16-20に基づいて、オンライン授業の実施状況と秋学期への準備について説明した。春学期のオンライン授業の実施状況に関する追加の情報として以下の情報提供があった。① 平井先生からzoomでの録画ではステレオ音響がモノラルで録音されていたとのこと。② 永谷先生から、Teamsの機能はWindowsとMacでかなり差があるとの

報告。例えば、Mac 版では動画の再生で音声繋がらない、クラスからの脱退が管理者しかできない、など。③ 伊藤（慎）先生から、moodle に stream 動画へのリンクを貼り付けると、stream サイトへの接続の後、動画再生となり 2 オペ必要であるが、YouTube へのリンクであれば 1 オペで再生できるので便利である、などの情報提供があった。

続いて、秋学期の授業で、実験・演習系の科目は対面授業の可能性のあることを説明した。大学側での準備もあるため、この時期に、対面授業の可能性のある授業をリストアップする必要がある。候補になる実験・演習系授業は以下のものである。

1. 情報理工学実験
2. プログラミング演習（基礎プロ I 再履修、基礎プロ II、発展プロ再履修、応用プロ）
3. 電子回路、デジファブ、実践情報セキュリティ
4. 特別研究 I、特別研究 II

この中で、特別研究 I と II 以外の科目で対面授業を希望する科目は、科目名、教室、実施形態（3 蜜を避ける方策）などの情報をカリキュラム委員（蚊野）まで連絡してください。

以上。